

中島社長の父、中島拓会長が同社を設立したのは2004年のこと。中島社長曰く、「父はカリスマ性がある素晴らしい人で、深く尊敬しています」という一廉の人物である。

理念経営に取り組むことで父と自身を比較する状態から脱する
「共に幸せに生きる」ことを判断基準に経営を行う

同社の企業理念には「全社員と私たちに関わる全ての人の幸せを追求します」と添えられている。この企業理念の実現のため、「凡事徹底」と「人生二度なし」の信条に則り尽力する中島社長。その理念や情熱、そして志に迫る。

ともすれば理想論に聞こえるが、会場に高らかに響いたこの言葉は真に迫り、心を打った。これは中島社長がジェイリースのビジョンに「信用を保証して安心を生み出し、誰もが「自分の人生をまっとうできる社会」をつくる」と掲げ、ビジョンが示す未来へと真直ぐ歩みを進めているからだろう。

大分県に本社を構え全国37都道府県40の拠点（2025年3月時点）を展開、400余名の社員が所属するジェイリース。主な事業内容は保証関連事業だ。住居用・事業用物件において不動産会社・家主に対し家賃を立替え払いする家賃債務保証や、入院患者に代わって医療費の立替え払いを行う医療費保証、ひとり親家庭の生活安定と子どもの未来をサポートする養育費保証などを行う。

国際青年会議所のクリード、その最後の一文は「人類への奉仕が人生最大の使命である」。ジェイリース株式会社の中島土代表取締役社長はこの一文について、2022年日本青年会議所第71回全国大会おおいだ大会のスピーチでこう語った。

「人類への奉仕とはなにか。それは自由な社会を創ることです。自分の人生を自分で決定できる社会を創ることです」

人生の転機を支えることで誰もが自分の人生を まっとうできる社会をつくる保証会社

社員の成長と志の成就を助ける「共に幸せに生きる」ための理念経営



これからもより多くの人の幸せをひたすらに追求し、
日本最大のプラットフォームを目指します

ジェイリース株式会社

代表取締役社長 中島 土



社員各々が自ら活動し、急激な成長を見せている

中島社長は理念経営に沿うように、同社の2024年のテーマを「成長」とした。「一人ひとりの人生の理念、そしてビジョンに向かい成長していく」という意味の「成長」です」

このテーマを据えてから社内には様々な変化があった。その1つが会議である。以前は拠点の未達成の項目に着目し会議を進めていたが、現在は達成した項目にこそ注目するようになった。

「目標を達成した社員に全力で承認と称賛の拍手を送るようになりました。すると、涙を流して喜ぶ社員も。また、未達成の拠点があった場合も、達成できる方法を皆で考えるようになりました。会議の雰囲気は良くなっています」

社員との交流としては、中島社長が主催する任意参加の理念マネジメント勉強会を開催。200名以上が登録している。また社員も自主的に勉強会を立ち上げ、営業力や人間力を高めるための木鶏会を開催している。自主的な活動の前例が増えることで社内での挑戦に際しての恐れや不安が薄れ、社員各々が自ら活動し、急激に成長するようになった。社員の成長に伴い、5期連続で増収増益を続けている。

社員と共に成長というテーマに臨む 社内の雰囲気は良化し低い離職率を保つ

加えて拓氏の「お前ならできる」という言葉も励みになった。現在は多くの困難を乗り越えてきた拓氏から経営を学び、会社のTOPとして奮闘している。



父の後を継いだ中島社長は、「社員や顧客と共に幸せに生きること」を個人理念とし日々奮闘

中島社長がジェイリースへ入ったのは2012年。親孝行ができればとの想いでの入社だったという。「私は父と母という何より尊い存在に生をいただきました。両親に恩返しするには、父が創った会社で、父を支える必要があったのです」

社長に就任したのは2023年のこと。傑物である父の後を継ぐのは大きなプレッシャーがあったという。

「社長として社員を幸せにできるのか、会社を存続できるのか。正直、不安だらけでした。また私も含め社員は皆、父の後を追ってきたので、『彼らは私にもついてきてくれるのだろうか』という不安もあったのです」

その不安を払拭するために考えたのが「理念経営」だ。

「社員全員が人生の理念を持ち、仕事を通してその理念へと向かうのが理念経営です。私は自分を『社員が理念を実現するための応援団長』と位置付けました。これによりやっと、父と自分を比較する状態から抜け出せたのです」

中島社長が自身の理念価値とするのは、「共に幸せに生きる」こと。「社員やお客様などの皆様と共に幸せに生きることが、私個人の理念です。この意志決定が共に幸せに生きることにつながるのか、常にそこへ立ち返り判断しています」

「当社の数字的な成長は、間違いなく社員の成長によるもの。恐れずに新しいことに取り組んで当社を自己実現の舞台として使っていたきたい。そうして1回きりの人生を幸せなものにしてほしいですね」

また「私の重要な仕事の1つが、努力し、目標を達成した社員にスポットライトを当てることです」と中島社長。年に1回ジェイリースグループアワードを開催、多くの社員を表彰している。

これらの取り組みもあって同社の離職率は5〜6%程度と極めて低く、新卒社員は当期含め3年連続の離職ゼロを達成した。同社は「信用で人をつなぐ」をテーマにした3ヶ年経営計画を進行中だが、正にそのテーマの通り信用が同社に人財を繋ぎ留めている。

人生の新しいスタートをサポートする家賃債務保証

医療費保証により誰もが自分の人生をまっとうできる社会をつくる

同社事業の第一の柱は家賃債務保証。中島社長はこの事業について「転居やテナントを借りて事業を始めるのは人生の大転機。家賃債務保証は新しい人生のスタートを支える尊い仕事です。そんな仕事に携われて有難く思います」と語る。

特に注力しているのが住宅確保要配慮者への貢献だ。2025年10月には住宅セーフティネット法が改正され、外国人や高齢者などの住宅を借りづらい者に対し更に手厚いサポートを行うよう変更される。同社は国交省から新しく設置される家賃債務保証業者の認定制度における認定保証業者も申請予定で、「業界でNo.1のサポート実績を誇る企業を目指します」と中島社長は目標を語った。

家賃に関する社会課題については、世界規模で見ても日本が最先端だという。そのため中島社長は「日本での問題解決が進めば、海外の要配慮者へのサポートも展開できるのでは」と考え、2025年3月に台湾へ準備室を設置した。

「台湾は家賃保証の仕組みがなく、住居や事業用物件でミスマッチが多い国です。市場調査を進め、台湾の方々に支持される商品についてなど具体的な立案を行い、台湾にも当社が20年かけて培ったノウハウを広げて社会課題を解決する一矢になりたい。国内外問わず、社会課題があればお役に立ちたいと思います」

また、今後の柱として位置付けているのが医療費保証だ。入院する際に保証人がいない、または探すことが難しいということも少なくない。また、現在、入院費などの未収債権により倒産する病院が増加中で、更に進行すると、「各地域で医療難民が出る社会になってしまいます」と中島社長は言う。

「当社のビジョンは、誰もが自分の人生をまっとうできる社会をつくる」です。適切な医療を受けられない状態は、自分の人生をまっとうできる状態ではありません。そのため、医療費の未収問題に保証会社としてサポートを行います」

同社の医療費保証は日本赤十字や国立公立の病院をはじめ、多くの医療機関に活用されている。医療費保証事業の売上は現在1億円を突破したが「まだまだこれからです。トップシェアを目指します」と、中島社長は更なる成長を誓った。

グループ企業エイビスが開発した「TRUSTA」

地域貢献により地元大分に恩返しを続ける

事業の伸長に加え、グループの拡大も積極的に行う同社。外国人向け不動産仲介、管理事業などを行うあすみらい株式会社を設立、さらに環境検査機関向けパッケージソフトの開発や販売、保守などを行う株式会社エイビスの株式を100%取得し、事業の幅を広げている。

元々同社のシステム開発を担っていたエイビスは、同社のシステムに深い理解があり、課題感も共有できていた。そのため「シナジーを発揮するために合流した方が良い」と意見が合致しグループインしている。



法人化した企業サッカーチーム「ジェイリースFC」

そんなエイビスが開発したのが、顧客の情報管理システム「TRUSTA」だ。既存の複数のシステムを統合・改良し、WEBサイト上で申し込みや解約、入金管理などの手続きをより簡単に行うことができ、管理会社は顧客からの申し込み情報を瞬時に把握できるようになった。

他にも同社は、企業サッカーチームであるジェイリースFCを法人化。九州リーグからJFLへの昇格へと目下奮闘中だ。中島社長はジェイリースFCを「よりサッカーを通じた人づくり、街づくりをする組織に進化させていく」と言う。

サッカー選手は他の競技と比較して競技寿命が短い。そのため引退後の生活に不安を持ち、進路に悩む子どもも多い。そこで同社が「ジェイリース社員」というセカンドキャリアを用意することにより、「選手や子どもたちが引退後のことを心配せず、安心してサッカーに打ち込み自己実現ができる。そんな環境を作りたいのです」と中島社長は語った。

また、サッカーを通じた地域貢献活動として、子ども向けの無償のサッカー教室や老人ホームなどで行うサッカーを通じた体操も実施。同社を育てた地元大分へ貢献している。

他に地域貢献として、中島社長は大分大学経済学部で講義を行っている。この講義は、受講した学生から「大学4年間で一番良い講義だった」、「こんなに胸が熱くなったのは初めて」などの感想が届く好評ぶり。中島社長は「私の人生の物語や、価値観を基にお話しています。講義中に涙を流してくださいさる方もいます。私も泣きながら話しているのですけれどね」とはにかみながら語った。

同社には多くの大分大学の学生が新卒として応募すると言うが、応募理由の殆どが中島社長の講義を受けたため。求人に応募した学生は、中島社長の理念に深く共感し、ジェイリースの門戸を叩くことに決めたのだろう。

大分県で興り育まれてきた同社。中島社長は「これからも恩返しができるよう、地域貢献活動を続けていきます」と力強く語った。

目指すは日本最大のプラットフォーム トップシェアを取ることで「より多くの幸せを生み出したい」

同社の企業理念は「私たちは、社会の安定と発展に貢献する責任を自覚し、公正かつ誠実な企業活動を基盤とした創造的なサービスの提供を通して、全社員と私たちに関わる全ての人の幸せを追求します」。中島社長は「社員が議論の末に生み出した企業理念で、誇りに思っています」と言う。

「自分が幸せであって初めて、人の幸せに貢献できます。そのため、『全社員』が『私たちに関わる全ての人』よりも先に来ているのは、特に誇れる部分です」

「幸せ」というキーワードを大切に語る中島社長。そのきっかけは、幼少期の祖父との思い出に垣間見える。幼い頃、中島土少年はよく祖父とドライブへ出かけていた。その際に祖父は何度も土少年に「人間は何のために生きるのか。それは、幸せになるためだ」と伝えていたという。

PROFILE

中島 土（なかしま・つち）

1982 年、大分県大分市生まれ。
 2004 年、中央大学卒業後、アコム株式会社に入社。
 2009 年、株式会社拓成 常務取締役 就任。
 2011 年、ジェイリース株式会社 顧問 就任。
 2012 年、ジェイリース株式会社 取締役常務 就任。
 2014 年、ジェイリース株式会社 取締役専務 就任。
 2018 年、ジェイリース株式会社 取締役副社長 就任。
 2023 年、ジェイリース株式会社 代表取締役社長（現任）。

所属・資格

公益社団法人日本青年会議所 2022 年度会頭。一般社団法人大分青年会議所 2016 年度理事長。日本 JC 日台友好の会 特別顧問。豊の国かほす特命大使。公益財団法人日本賃貸住宅管理協会 幹事。公益社団法人経済同友会 会員。大分経済同友会 会員。大分商工会議所 議員。一般社団法人大分県サッカー協会 理事。宅地建物取引士。

INFORMATION

ジェイリース株式会社



<https://www.j-lease.jp/>

所在地	<大分本社> 〒870-0034 大分県大分市都町 1-3-19 大分中央ビル 7F TEL 097-534-2277（代表）
	<東京本社> 〒163-1102 東京都新宿区西新宿 6-22-1 新宿スクエアタワー 2F TEL 03-5909-1241（代表）
設立	2004 年 2 月
時価総額	720,166,000 円（2025 年 3 月 31 日現在）
従業員数	558 名（連結：2025 年 4 月 21 日現在）
事業内容	保証関連事業〔家賃債務保証、医療費保証、養育費保証〕
企業理念	私たちは、社会の安定と発展に貢献する責任を自覚し、公正かつ誠実な企業活動を基盤とした創造的なサービスの提供を通して、全社員と私たちに関わる全ての人の幸せを追求します。

もう 1 つ何度も伝えられたのは「幸せになるには自由が必要だ」という言葉。人々の自由を奪う戦争で目を失いながら生き残り、幸せな家庭を築き、言葉通りの人生をまっとうしたという祖父。彼が言うそれらの言葉の説得力はいかばかりか想像に難くない。

祖父の言葉を胸に歩む中島社長は、同社の今後のビジョンを「社会に貢献する幅、広さをより広げて行くこと」だと語る。

「当社は社会に貢献できるから存在を認めてもらえる立場です。これからもより多くの人の幸せをひたすらに追求し、日本最大のプラットフォームを目指します」

また現在、業界での時価総額トップを走る同社だが、更に「業界トップシェアも目指す」と中島社長は言う。「当社は、住みから多くの人の幸せを生み出す事業を扱っています。トップを取ることが目的ではなく、トップを取らなければより多く幸せを生み出せない。そんな覚悟のもと成長を続けていきます」

中島社長は 2025 年のテーマを「志」と据え、「社長に就任してからこれまで、皆と共に成長できたという実感があります。次は更に高次元にある「志」を達成したい」と言う。

「志」とは燃えるような願望、何何でも実現したいもの。去年のグループのテーマ「成長」から一歩進み、社員が「志」を実現できるようサポートして行きたいと思っています」

中島社長の志は企業理念に記された、全社員と私たちに関わる全ての人の幸せを追求すること。泰山は土壌を譲らずと言うように、中島社長はこれからも、同社の事業を通じ人々が幸せな人生をまっとうできるよう貢献し続けていく。